

診断書（病弱・虚弱）

この診断書は、修学上・生活上の合理的配慮を考えるための資料です。

氏名	生年月日 西暦 (S・H) 年 月 日	
住所	〒	
診断名	英語表記も記載してください。	
障害の状態	身体障害者手帳	無 有 (級、取得：西暦 (S・H・R) 年 月 日)
	区分 日本学生支援機構による	悪性新生物 ・ 慢性呼吸器疾患 ・ 心臓疾患 ・ 糖尿病および神経疾患 消化器疾患 ・ 腎臓疾患 ・ アレルギー疾患 その他（疾患名：)
	障害の状態について、参考となる経過・現症・補装具・処方薬・運動制限等を具体的に記入してください。 合理的配慮に関する困難と必要な配慮について、別紙に記載してください。	
検査結果等	検査名称 検査結果を添付してください（実施日は、原則として申請時の3年以内）。 ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日)	
診断者	上記の通り診断する。 西暦 (R) 年 月 日 医師名 (印) (診療科名) 医療機関名・所在地・電話番号	

別紙 修学上・生活上の困難とそれに対する配慮

学生の状況を踏まえ、修学上・生活上の困難とそれに対して必要な配慮項目に○(特に必要な配慮項目は◎)を付けてください。

【記入例】

修学上・生活上の困難 (症状を含む)		場面	必要な配慮
○	体調不良等により遅刻・欠席する	修学	○ 座席の確保：出入り口付近・トイレに近い座席・窓際から離れた座席等
○	通院により遅刻・欠席する	修学	配布資料の提供
		修学	◎ 遅刻・欠席回の授業内容の提供：授業資料・重要情報の送付
		修学	○ 遅刻・欠席回の学修のレポート課題等での代替

修学上・生活上の困難 (症状を含む)		場面	必要な配慮
	感染症にかかりやすい	修学	座席の確保：出入り口付近・トイレに近い座席・窓際から離れた座席等
	長時間同じ姿勢で着席し続けることが困難である	修学	空調等による室内環境の調整
	筆記やパソコン操作、細かい作業に制約が生じる	修学	配布資料の提供
	運動制限がある	修学	遅刻・欠席回の授業内容の提供：授業資料・重要情報の送付等
	アレルギーが使用される場合に制約が生じる	修学	激しい運動を伴う活動への配慮
	疲れやすい	修学	オンライン授業の実施
	体調不良等により遅刻・欠席する	修学	遅刻・欠席回の学修のレポート課題等での代替
	通院により遅刻・欠席する	修学	途中入退室の許可
		修学	課題提出期限の延長
		修学	試験時間の延長
		修学	別室での受験
		修学	欠席回の発表・試験の別日程による実施やレポート課題等での代替
		生活	休息場所の確保
		生活	自家用車による通学の許可
		生活	災害時個別対応書の作成：避難計画等

上記以外に困難や必要な配慮があれば、具体的に記載してください。

修学上・生活上の困難 (症状を含む)	必要な配慮